

蒙古文書  
卷之二

60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1



（はんじやうのふ月のすゑ）

今へくをもく／＼行ふ。もうべのとやま  
や／＼もく／＼有ゆらればそれこそまつら  
へるべとゆ／＼つけてこれもよしとま  
ま／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と  
お／＼の娘／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と  
ま／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と  
ま／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と  
が／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と  
ま／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と  
ま／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と  
ま／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と  
ま／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と／＼と





えぬもあらぬもて。のうもくせんをあわせたま  
べりて。のびやうて。かく  
くらむのまゝれ。あさき。まくづくと  
隠すて。らむる行かう。ゆくつるひ  
くく行はひゆつて。うくらひをます。あや  
まく。じつとれまく  
まよえ。まよ。おののまくとも。人の。まく  
くも。すく  
とりくつみゆべ。まよ  
わや。やこみて。が  
つまく。やのめの。まく  
まのけいも。まよ。まく

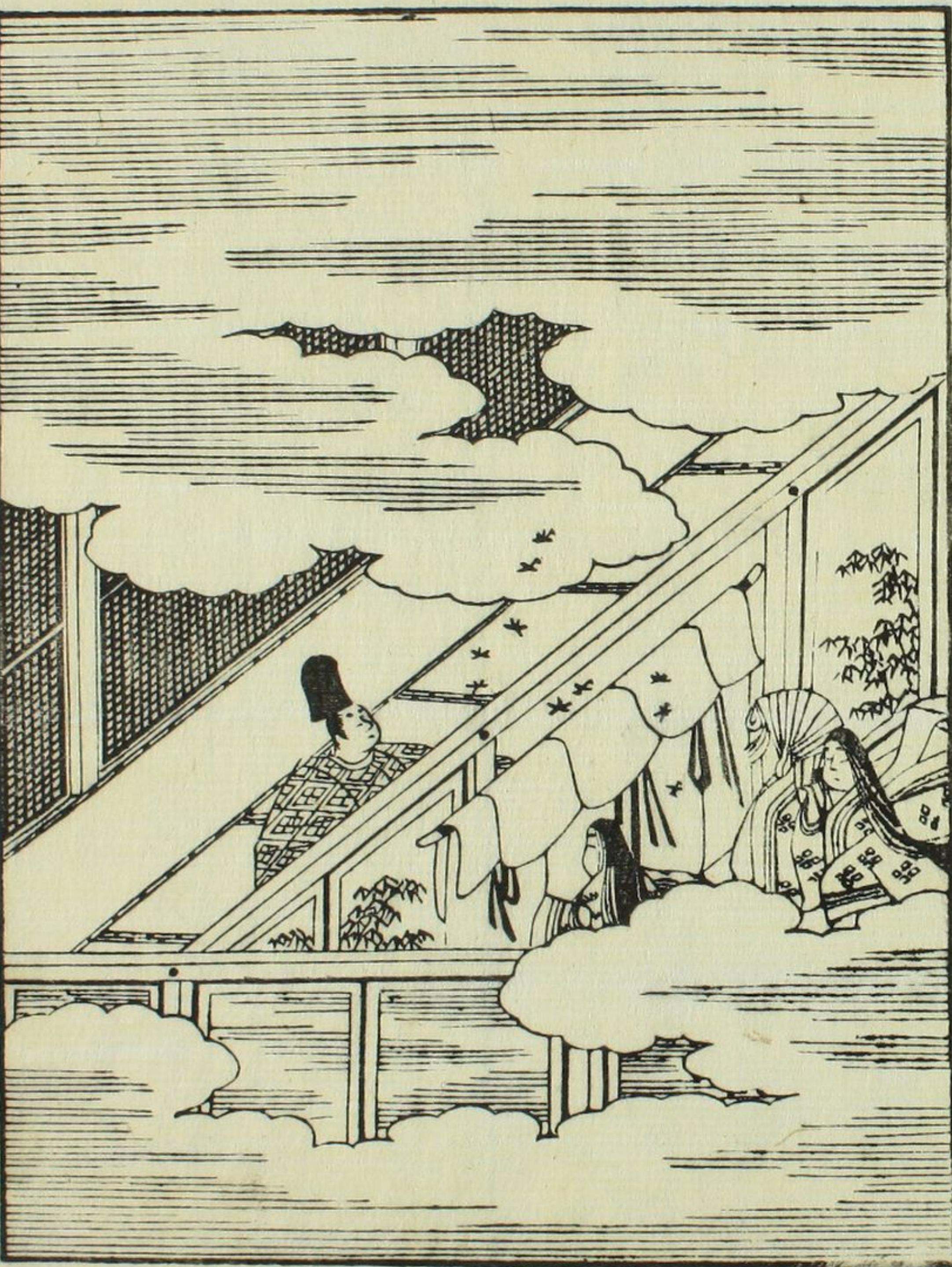
風もつとへそをひかへるの立まへてあがへる  
あらまうてよひておほへるよかへる  
けりひとせとくめぬる。うち出でよひのゆが  
のゆひでけくみの葉おとれ  
よすくへきくわへてひとけりふへとむする。  
はくへつむかとほのまつがりす。吹きに東がも  
てよひまつておまかづてうすうつて  
れきそこのくふ。おまかづてうすうつて  
いはくあまくわくまくまくされてうすうつて  
いはくあまくわくまくまくされてうすうつて  
いはくあまくわくまくまくされてうすうつて  
いはくあまくわくまくまくされてうすうつて  
ワびきよきぬよもあす。このえきらをくへ

きくちうらう。べづてこまくまくす  
アリ。ばくまくそく。かこくまくすくひく  
さくまくわくじくまくまくのくじく  
くもづくとももいへぬめぐれ心もへずればとくぬ  
うがくわびーさればざく坐て。まやのまへあ  
ゆまゆのまへ。うりうりうりうり。おまくれと  
あまくれつへまくまくまくまく。おま  
やくまくまくまくまくまくまくまくまくまく  
けくめくわくまくまくまくまくまくまくまく  
せうううとあくれづく。ほくろをうすくまくまく  
タのまくまくまくまくまくまくまくまくまく

うやうやしくて、よしとくにけりちえんすのれ  
あはあはとて、かよひをうへりて、ゆめ  
ひうみど<sup>當</sup>ものをうひかん。わじこもりと  
おもむくのをびよ。まののむらうりんと  
おもむくのをびよ。まののむらうりんと  
えんとまくとありふるうりん。まののワフ<sup>セ</sup>  
きがくとてつて、よしとくにけりちえんすのれ  
れ心外うふとて、よしとくにけりちえんすのれ

蟻  
声も実の虫のそひどよ人のりづか

まゆり地 ひよしのうきのやとまゆりやうの  
れぐへとおもひまたえんと称ぢけられば  
まゆりをそ  
まゆりあくまく先





まよのづかひあびぐくとく。からん  
せうつけばうしぐひちゆづきれかでち。あよ。  
うちもとふつぎあれど。むきぐくせばうくつて。  
さすがきみれゆ成すり。み月宵よしもとのかく。  
はけりつめでよ。わくゆきう。りよそや。まも  
あやかくい。うくゆきう。うくゆきう。  
ワグもさげきひゆくうくゆき。人の心やがく。  
わのあやまちすま。うくゆき。うくゆき。あらざれ  
あらざれ。うくゆき。うくゆき。あらざれ。うく  
まづくまづく。うくゆき。うくゆき。あらざれ。うく  
あらざれ。うくゆき。うくゆき。あらざれ。うく

「まへせりあれれもあをとまくわれじば

四もいふがびーりん

わくもかでつらあきとみやれわやも  
ワざうれけのりんーくとじりや  
のふぞうれきとひくすりゆべづり  
ぞくえ雪このまくはれく。ひくすりあく  
えぬりく。くくぶあくちあくめぬよて。あく  
くうねう。かばーきくみつ。さばのゑあうさ  
れ有病よて心ゆきひもともがむろよ。あくじく  
ひとのまづく。ごりのまづくとも。やこく  
れとく。うだかばさん。あく東のれおもす

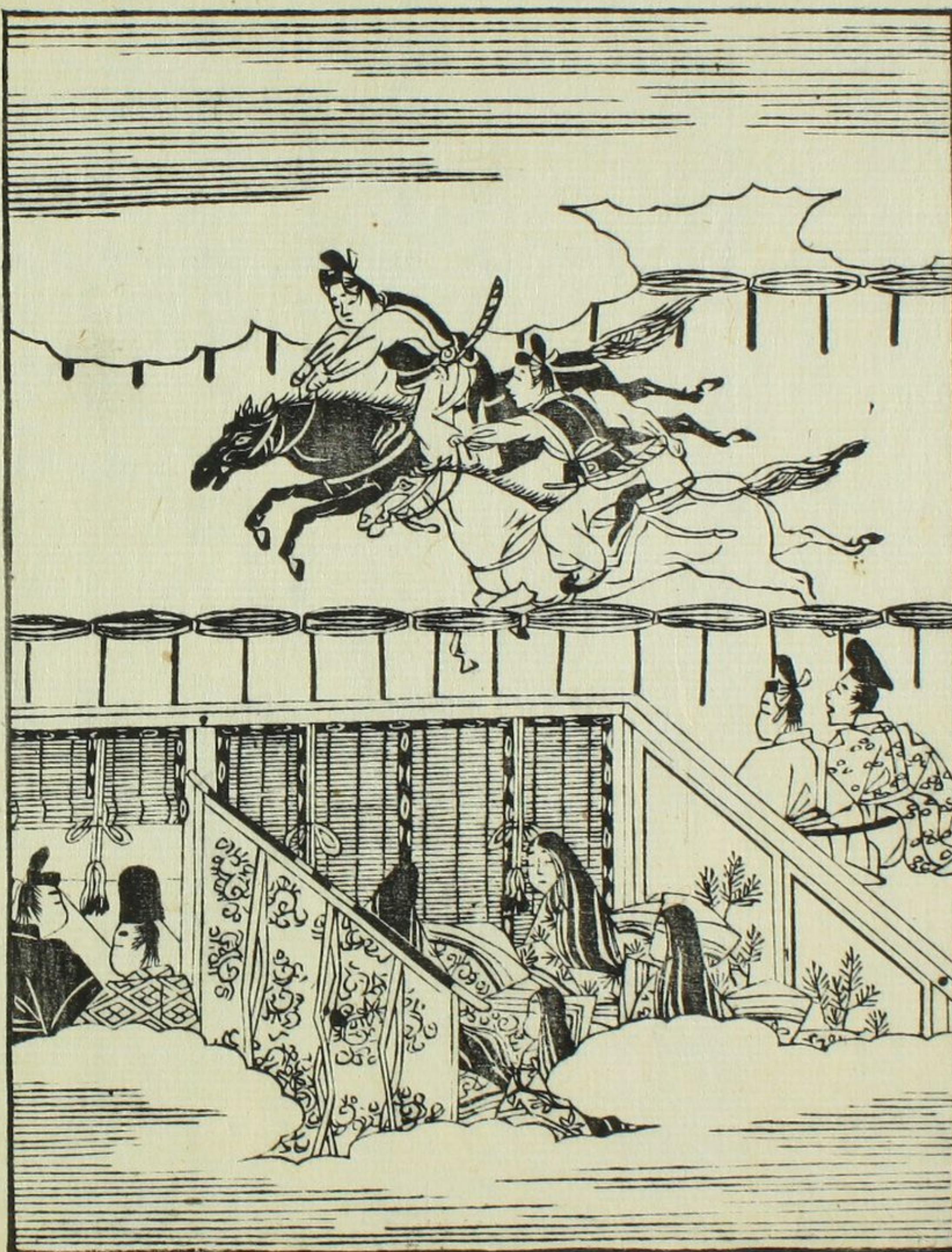
三のぞくきて。中鶴タクナミタマニキのよけひ  
のひそてよ。まくまくりつれて。あくべまく  
つひーを。まく心ーのくも。あくまく行よ。まくん  
ゆき。あくまく寛よ。づくづくまくーのづく  
とよ。このまく。まくのまくつて。まくひまくー  
くまく。まくのづく。まくかんあく。まくひ  
ふくらう。まくじまくのまく。まくの腐か  
とうこくまくはくをくづ。づくく。づく  
故人。まくうらう。まくくのあくべうをまく  
まくのまくへば。まくくほづく。まく

アシ。墓の内方よりもづづづぢやどおもつて  
モテラフのアヅカフ。シナウハヤムケツテ。  
リマカミシテモソゴの内本帳ガモツツア。ウツ  
トモズヘヤムキナム。ミナヅグれのアミタ。フ  
トカハナスモタクシタツツツツツツツツツツ  
墓の内方。これまくされうる。四人。もも  
ゲヘハアフリのスモゴのモラギ。この着葉の色  
トツツツツツ。アゲヨのスモヒダカリ。アタマのハ  
ミカヒイミヨ。タコガモのスモヒル。モ  
ルタタタタタ。セのスモヒル。ハナタリタリタリ  
ミホリ。ワタリタリタリタリタリタリタリタリ  
タリタリタリタリタリタリタリタリタリタリ

アシ。シジヒリードのサガタリ。馬場のサトヒ。  
サカタ。ゲヨミアモリ。ガリ。ヒムヒムヒムヒム  
サカタ。ジドヒ。ミカヒムヒムヒムヒムヒム  
ヒムヒムヒムヒムヒムヒムヒムヒムヒムヒム

タマ

おへうよのわやうもくらみとあれど舍人ども  
そへえんちうとうとくとつうてがとうげうて  
まとうきせりとくらむとくらむぞくくらむ南の町を  
まとうきせりとくらむとくらむぞくくらむ  
わくへざへこくらむが速樂納薦利くわくわくびて  
うちむけのうんきうどくのちくもくよ入る  
行くもくよすくとくめくわくの縁とれぐわ  
うくわくとくめくわくの縁とれぐわくわく  
ちくのくわくのくわくのくわくのくわくのくわく  
ちくのくわくのくわくのくわくのくわくのくわく



あひそやうづきをもれや。思ひてとまひつやうと  
ソスとれそくあれとのゆ。いぢらうとまも  
の。一々ぐるびよそうてどもそくもひげり。キ  
やくもよば。わく。ひつび。そくもとす  
がれど。びのうからく。いづく。そくもとす  
はの。まう。ほ。  
まくまくひ。えれ。そちの。ま。ま  
れど。けひ。いそく。て。あ。の。の。あ。ま  
き。け。と。の。そ。べ。ほふ  
や。や。そく。ゆ。あ。そ。と。あ。と。は  
り。ゆ。そく。ゆ。あ。そ。と。あ。と。も。あ。れ  
り。ゆ。そく。ゆ。あ。そ。と。あ。と。も。あ。れ

その處もすまわまとあよしくて各行の  
ややめりやひきつぶとおもてさるをすら  
くのくともわのどおとおびへりて  
あやうよひくわくとおびづつわごゆもいれ、  
うちや・はタのくもあやうちうもくわ  
きりかうやすそあれとおれどくしてえ  
のうやよむつすくへんあればじられと  
やくよゆとばゆづりまきてれまがりてえ  
めのとのどめしきらくうぐわんすらをば  
もげあくえくもくくよ。かのひもあれもてもく  
ゆべればあくらもくもくはりよう有無の  
キムリもいきしてくもくもくすくつれく  
さればくろぐき地地代あよどのすみへよてあ  
くのあくのめくのめく。やうの  
うめうてきくのめく。地のめくよをりゆ  
西のめくにきてうぐちくをほくのすら  
うればせまく。うくよづくをか  
ワ人あくらあく。めくぐく。うくの  
うへうくを。うくとく。やぬくや。うくあく  
中よも。うく。有無のあくうくうくうくとこく  
の地のめくあくうくを。うくうく



れどもやくのゆきりふいり  
あれうへや。西へよそゆきん。あく  
まゆのゆきにて。せな  
さやまゆへば。は行りもゆきふうてげば  
本紀かねとき代じだいすよあくと。まゆをさげらす。日  
あくくあくめてわゆらせまうらそら  
えくがのまゆひせり。まゆのゆき  
えくもゆくまゆう人の有様の。うよもゆ  
えくもゆくと。ほのせよもゆくと。ま  
ゆのゆきす。を。まゆのゆきと。まゆの

もどめうらやましき風よりよみてはよきもの  
ほもうり坐て人よもとがりんとてまくわくさ  
まれゆづくまくととさうあらわすされくぐ  
よつひくふじせのがのくわくすばくべのくくみ  
ざえいこうやうくまくわくやまくわくみのく  
あれど首今のくくくべくあくさくあくさ  
くのりぢりくわくわくわくよく  
ひもさんもくとくのくくびてえんありけり。佛の  
ゆくうりくまくくで。とくくまくくわくくれ法も方便  
とううくわくうて。さうりうくく和ひうて  
類とまくべくうん方おほのゆよめられど。りひ

まやあさくわしげとまくらを心うちすれどそ  
まうねゆくふき風アメあざれ  
さひあまう首ルのぬとくがめれ  
けり子コトさくびらきさシテあくハムのなまき  
トトとくにれとトクニのゆくとヨクさくびら  
れとレトばほハボ  
れとレトさやまくサヤマクドド恨ハナまくマク

もつて、お代は持てまへ  
ゆきのふとありと、つむりあうれとて  
ゆんぢうちひまくかみのちよ、心もくしてひま  
まくすと昔の首を離れて、坐てがまもみ  
まくわへど、まくまく、ざれうるまくら  
まくわよまくべく心のどけさへよいざり  
けれとまくせりて、げくぬぐひもくと  
とくいれ、あひそりたうけ、ぬくびのれ前  
う。せうれうれうれ、あくまくまくと  
みそく、心つまうれのひすみやくと、か  
わるいとまくと、まくわら

親のまゝさりやう。あや  
うへりつて。されげよそつべと。人のけひ  
よしむらわひあり。おもじ  
くさうまだゆはめくまくよ。さくで  
くまくまくのゆよげよと。えく  
あきこくもかうすりぎや。もぐ  
いぞ人のめを。うきよ。このれ  
きまく。うきよ。のくまよ。まくはる  
うきよ。うきよ。あゆだもゆけうと。心よづ  
うと。うきよ。うきよ。うきよ。うきよ。  
のくまよ。うきよ。うきよ。うきよ。

はるかにうへけふとくすりやくすりのれど娘の  
ゆゑよはまうちまくらぬふちばは  
ほんせのねいとてもくてもおちどくられど  
あそんよをさひやくされこつまきひもくめ  
くもとくとくわくとていわびゆべくれとてみあと  
ちまくのまのうちへゆくゆくゆくうじんぐち  
女房の中へゆく　落語ほよ  
ひよそづくやむごくうづくづくすゑくうじ  
この心からあらうともづくゆく  
まれりゆゑうれびづくづくゆづれり  
まいもげづくづくびゆれあらびあとのけりのあ





せんやとまくらをうなぎべがこの人のまくらと  
わくわくするといふうなぎをうなぎの  
じうそおのまくら

